



神奈川県立 伊志田高等学校



所在地：伊勢原市石田 1356 番地 1 号 〒259-1116
電 話：(0463) 93-5613
FAX：(0463) 96-2961
URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ishida-h/>
創 立：昭和 51 (1976) 年 1 月
課 程：全日制
設置学科・生徒数・学級数

	1 年	2 年	3 年	計
普 通 科	272	306	263	841
学 級 数	7	8	7	22

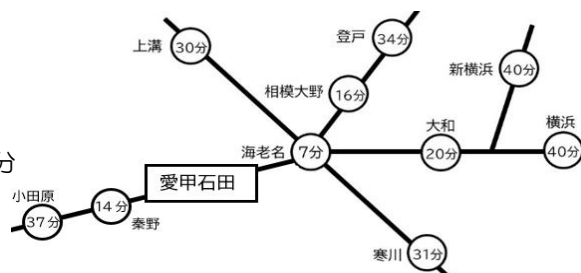
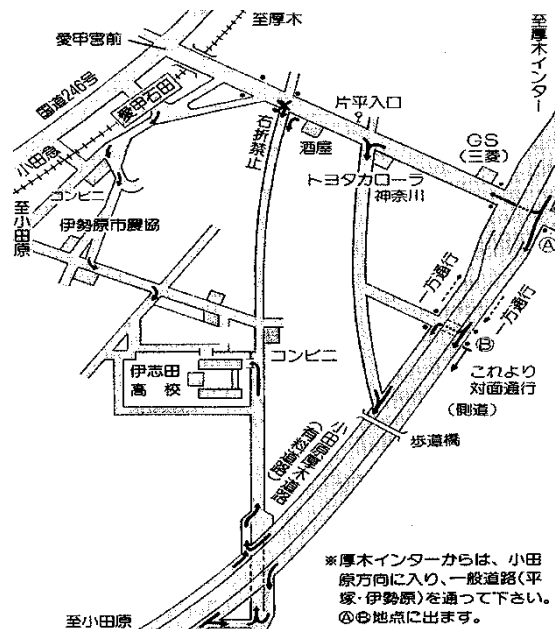
(生徒、学級数については令和 6 (2024) 年 5 月 1 日現在)

小田急線で秦野駅から 4 駅 14 分、海老名駅から 2 駅 7 分
愛甲石田駅から徒歩で 7 分の好立地の学校です。

<学校案内図>

利用交通機関

●小田急線愛甲石田駅下車徒歩 7 分



(1) 学校の特徴

○学校の概要

神奈川県立伊志田高等学校は昭和 51 (1976) 年に開校し、平成 29 (2017) 年度より海外帰国生徒の受け入れを開始しました。令和 5 (2023) 年度現在で 2、3 学年 7 クラス、1 学年 8 クラスの全日制普通科の高等学校です。愛甲石田駅から徒歩 7 分という、非常に通しやすい立地にあります。

○施設・設備

体育館、プール、テニスコート (4 面)、図書室などの設備の他、自習室等快適な学習環境を整えています (令和 2 (2020) 年度より校舎の耐震補強工事のため、一時的に施設・設備の利用が変更されています)。

○学校行事

平成 29 (2017) 年 6 月、29 年ぶりに再開された体育祭と例年 9 月初旬に行われる文化祭を合わせて「宿志祭」とし、それぞれ体育部門・文化部門と称して生徒会最大の行事と位置付けています。体育部門では応援合戦が行われ、4 色の対抗戦を盛り上げています。

○部活動

伊志田高等学校は、以下の部が活動しています。部活動の入部率は 89.6% (令和 6 (2024) 年 5 月 1 日現在) と高く、活発に活動が行われています。

令和5(2023)年度の実績は、運動部では、関東大会県予選にて女子バレーボール部が9位で県大会出場を果たしました。また、新人大会では卓球部が県で女子7位、男子16位、と健闘しました。文化部では、合唱部が県の神奈川県高等学校総合文化祭で茶道部が高文連会長賞、合唱専門部長賞を受賞しました。他にも地区大会等で好成績を残している部活動や地域に貢献している部・同好会もあり、生徒は日々一生懸命取り組んでいます。

文化部

吹奏楽、フォークソング、合唱、軽音楽、茶道、華道、漫画研究、美術、クッキング、自然科学、ESS 同好会、メイキング同好会

運動部

バドミントン、男子・女子バレーボール、野球、陸上競技
男子・女子バスケットボール、男子・女子テニス、卓球、剣道
柔道、サッカー、山岳、水泳、女子ソフトボール、ダンス
ドッジボール

(2) 教育課程

現在は1年生の論理・表現Ⅰおよび2年生の論理・表現Ⅱは少人数クラスで授業を展開しています。また、2年生の数学Ⅱの授業でも習熟度別にクラス編成を行い、生徒の学力向上に努めています。令和5年度入学生より2年生で文系・理系に分かれ、生徒の多様な進路希望に対応するための選択科目を設置しています。

(3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒も一般のホームルームに所属し、他の生徒とともに学校生活を送ります。他の生徒たちとともに学び、教科外活動や学校行事でも多くの生徒たちと触れ合い交流しながら、日本語や日本の生活習慣を学ぶことで、社会性や、卒業後日本で生活していく術を身に付けていきます。

(4) 本校の国際理解教育について

伊志田高校は国際理解教育を推進しています。

○留学生の受け入れ

本校には、海外からの留学生が毎年常時1～3名程います。1・2学年のクラスに所属し、他の生徒たちと一緒に授業を受けています。また、他のクラスの英語の授業に参加するなどの交流の場を設けています。

○国際理解講演会

10月に伊勢原市民文化会館で講演会を行っています。講師には、海外経験のある方などをお招きしています

○スピーチフェスティバル

2年生各自がテーマを決めて英語でスピーチをします。その後は各クラスから選ばれた優秀なプレゼンターが2年生の生徒全員の前でスピーチを披露します。

○東海大学の留学生との交流会

平成26(2014)年より東海大学で学ぶ留学生と本校の生徒が交流をしています。留学生と生徒はグループに分かれ、少人数で英語で話し合います。参加する留学生の出身国についての話を通して他国についての理解を深めます。

○日産テクニカルセンターの外国人スタッフによる英語の授業

3月に近隣の日産テクニカルセンターより外国人スタッフを招き、英語の授業を行います。出身国についてのプレゼンテーションやQ&Aを通し生徒の国際的な視野を広げます。

(5) 海外帰国生徒の卒業後の進路

ほとんどの生徒が4年生大学への進学を希望し、目的意識を持って勉学に励んでいます。中には語学力を活かした受験をする生徒もいます。